

令和2年度

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表

児童発達支援事業所たけのこ川島

回収率 68%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未記入	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%	0%	0%	0%		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%	0%	0%	0%		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	77%	15%	0%	8%		玄関の段差などについては、今後検討してまいります。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100%	0%	0%	0%	・子どもの状態が良くなかった時、環境整備を含めた様々な対応を素早くしてもらえた。	今後とも継続して行ってまいります。
	5	活動プログラムが固定しないよう工夫されているか	100%	0%	0%	0%	・子どもの発達段階をよく見て、本人に合わせた活動を考えてもらえた。	今後とも継続して行ってまいります。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	54%	38%	8%	0%		図書館でのイベントなど、地域資源を活用できるよう、情報収集に努めてまいります。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		今後とも継続して行ってまいります。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%		今後とも継続して行ってまいります。

保護者への説明等	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%	0%	0%	0%		今後とも継続して行ってまいります。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	38%	62%	0%	0%		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	92%	8%	0%	0%		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%	0%	0%	0%		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	77%	23%	0%	0%		
	14	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	0%		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	85%	15%	0%	0%		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%	0%	0%	0%		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	77%	15%	0%	8%	・その日にたけのこの予定が入っていると、にっこり笑っている。	安心して利用していただけるよう、努力してまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	92%	0%	0%	8%	・本人も楽しみにしているし、送迎もあるので助かっている。いろいろなことが自分のできるようになったという達成感を、本人も感じていると思う。	できるだけご要望に応えられるよう、保護者の皆様とのコミュニケーションも密にしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

令和2年度

保護者等向け

児童発達支援評価表

児童発達支援事業所たけのこ川島

回収率 73%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	分からない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	88%	0%	0%	13%		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	75%	0%	0%	25%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	75%	13%	0%	13%		ランドセル等の片づけ場所や手順など、絵カードを提示してわかりやすくしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	75%	0%	0%	25%		
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%	0%	0%	0%		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	0%	0%		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	0%		

	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	75%	13%	0%	13%	・まだ利用を始めたばかりで、わからない。	安心して利用していただけるよう、努めてまいります。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	38%	38%	0%	25%	・まだ利用を始めたばかりで、わからない。	関係機関との連携を蜜にして情報収集することで、保護者様からの様々な相談に応じられるよう努めてまいります。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	75%	0%	13%	13%		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	88%	13%	0%	0%		モニタリングなどの機会を活用し、困りごとや不安なことについて話ができるように努めてまいります。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13%	13%	25%	50%	・まだ利用を始めたばかりで、わからない。	安心して利用していただけるよう、努めてまいります。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	88%	13%	0%	0%		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%	0%	0%	0%		

	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	50%	13%	25%	13%		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	100%	0%	0%	0%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	38%	25%	0%	38%		玄関に設置しておりますので、ご確認ください。必要に応じて保護者の方が確認しやすいよう、設置場所を変更してまいります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	50%	13%	0%	38%	・まだ利用を始めたばかりで、わからない。	訓練日を玄関に掲示し、毎月実施しております。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	88%	13%	0%	0%	・毎日「今日はたけのこ？」と聞いてきて、利用日だと「やったー！ たけのこ大好き」と言ってくれる。	できるだけご要望に応えられるよう、保護者の皆様とのコミュニケーションも密にしていきたいと思います。今後とも、よろしく願いいたします。
	23	事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%	・できなかったことができるようになり、言葉の力もついた。子どもの自信になっていると感じる。 ・いつも相談にのってもらえる。	できるだけご要望に応えられるよう、保護者の皆様とのコミュニケーションも密にしていきたいと思います。今後とも、よろしく願いいたします。

令和2年度

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

児童発達支援事業所たけのこ川島

回収率 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	29%	71%	0%	・手を繋いだり、注意を促したりと、スロープや手すりのない所では事故防止に努めている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	・話し合いにできるだけ多くの職員が参加できるよう、日程を調整している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	71%	14%	14%	・玄関に掲示している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	29%	0%	71%	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	・事業所内外の研修に参加している。 ・定期的に研修を行っている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	・子ども自身の話も聞いて、ニーズを確認している。

## 適切な支援の提供

10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	86%	14%	0%	
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	・職員間で話し合いをしている。
12	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	86%	14%	0%	
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	・長期休暇用の課題を設定し、事前準備をしている。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	・朝礼で行っている。朝礼に参加できなかった職員は、朝礼ノートを確認している。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	・気づいた点は、支援中もそのつど共有している。 ・支援終了後、情報共有している。
17	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	・児発管がチェックし、検証・話し合いも行っている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	・定期的なモニタリングだけでなく、目標達成時にもそのつど見直しを行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100%	0%	0%	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	86%	14%	0%	・基本的に児発管が参加している。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	57%	43%	0%	・下校時刻などの情報共有ができていない学校もあるが、まだ少ない。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	14%	86%	0%	・該当児なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	71%	29%	0%	・情報共有できているケースもあるが、多くはない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	57%	29%	14%	・該当児なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	71%	0%	29%	・子ども部会などを通じ、研修会に参加する機会を得ている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	29%	71%	・機会があれば、お祭りなどの地域行事に参加している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%	・代表や児発管が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	・送迎時に話をしている。 ・連絡帳で伝えている。
	29	保護者の適応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	71%	14%	14%	・ペアトレは行っていないが、相談があったときに事業所で成功した支援方法などを伝えている。
	保護者への説	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	・事業所での支援方法を伝えるなど、助言を行っている。 ・必要に応じて代表による面談も行っている。 ・相談があれば児発管に報告し、対応している。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14%	14%	71%	・保護者同士の交流の場は設けられていない。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	・ご意見箱を設置している。 ・苦情があればすぐに児発管に報告し、対応している。その後の情報共有も行っている。



明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14%	43%	43%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会報はないが、活動の様子は連絡帳に写真を貼るなどして個別に報告している。</li> <li>・行事予定を記載したカレンダーを渡している。</li> <li>・事業所内に行事写真を掲示するときもある。</li> </ul>
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日報や連絡帳も訪問者に見えないよう工夫している。</li> </ul>
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カードやスケジュール表など、視覚的な工夫もしている。</li> <li>・口頭の連絡だけににならないよう、必要に応じてメモも渡している。</li> </ul>
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	14%	29%	57%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせやシャボン玉体験など、地域のボランティアの方を招いた活動も行っている。</li> </ul>
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	86%	14%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関にマニュアルを設置し、契約時に伝えてはいるが、見てもらえていないかわからない。</li> </ul>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月実施している。</li> <li>・火災、水害、地震など、月替わりで行っている。</li> </ul>
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な研修を行っている。</li> <li>・報道などがあればそのつど話し合いをしている。</li> </ul>
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	71%	29%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に記載はないが、身体拘束の要件については職員に周知している。</li> <li>・契約時に説明はしている。</li> </ul>
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	14%	57%	29%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の指示書はないので、保護者に依頼するようになりたい。</li> </ul>
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	

令和2年度

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

児童発達支援事業所たけのこ川島

回収率 100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	86%	14%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荷物の置き場所など、視覚的にわかりやすくしている。</li> <li>・手を繋いだり、注意を促したりと、スロープや手すりのない所では事故防止に努めている。</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数や活動に応じて部屋を使い分けている。</li> </ul>
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いにできるだけ多くの職員が参加できるよう、日程を調整している。</li> </ul>
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	86%	14%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関に掲示し、保護者にも渡している。</li> </ul>
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	29%	71%	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内外の研修に参加している。</li> <li>・定期的に研修を行っている。</li> </ul>

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	86%	14%	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	・事前に支援計画を確認してから支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	・集団ゲームや工作など、担当者以外の職員も話し合いをしている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	・担当者以外の職員も話し合いに参加し、工夫している。 ・支援者も固定化しないよう、ローテーションを組んでいる。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	・朝礼時に詳しく話し合い、確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	100%	0%	・気づいた点など、情報を共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	・日々の記録を見発管が確認し、朝礼で話し合っている。 ・必要であれば支援記録以外に対応シートを作り、職員間で共有している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	・定期的なモニタリングだけでなく、目標達成時にもそのつど見直しを行っている。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	・見発管が参加している。	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	57%	43%	・家庭相談員や、個別訓練の関係者とも連携している。	

関係機関や保護者との連携

23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	14%	86%	・該当児なし。
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	14%	86%	・該当児なし。
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	・互いに見学するなど、情報交換の機会を設けている。 ・送迎時にコミュニケーションをとって連携を深めたい。 ・電話連絡時の情報共有も積極的に行っている。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	71%	29%	・十分とは言えない。子ども部会などを通じ、巡回相談との関係も構築したい。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	86%	14%	・子ども部会などを通じ、研修会に参加する機会を得ている。 ・児童発達支援センターの研修に参加している。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14%	86%	
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	57%	43%	・代表や児発管が参加している。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	・送迎時に話をしている。 ・連絡帳で伝えている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	71%	29%	・相談のあった時やモニタリング時に行っている。
32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	・わかりやすいように丁寧に説明している。
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	・事業所での支援方法を伝えるなどしている。 ・児発管が対応し、必要に応じて代表(公認心理師)が面談をしている。

保

護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14%	86%	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	・すぐに児発管に報告し、対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	71%	29%	・活動の様子は、連絡帳に写真を貼るなどして個別に報告している。事業所内に行事写真を掲示するときもある。 ・会報はない。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	・日報や連絡帳は、訪問者に見えないよう、かごに入れている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	・写真カードや指示カード、ジェスチャーなど、視覚的な工夫もしている。 ・口頭の連絡だけにならないよう、必要に応じてメモも渡している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	29%	71%	・読み聞かせやシャボン玉体験など、地域のボランティアの方を招いた活動も行っている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%	・玄関にマニュアルを設置しているが、周知は不十分かもしれない。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	・毎月実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	・見学の際や契約時に確認している。 ・事前に確認し、職員間で情報共有している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	57%	43%	・医師の指示書はないので、保護者に依頼するようにしたい。 ・保護者からの情報を基に対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	・定期的な研修を行っている。 ・報道などがあればそのつど話し合いをしている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	86%	14%	・計画に記載はないが、身体拘束の要件については職員に周知している。